

# 日本教育社会学会

The Japan Society of Educational Sociology

## 第73回大会プログラム

2021

2021年9月

11日(土)・12日(日)

(関西学院大学・オンライン開催)



山崎準二・高野和子 編集代表  
未来の教育を創る教職教養指針④  
**教育と社会**

●油布 佐和子 編著  
A5判\* 192頁/定価2200円

「教育と社会」について検討するにあたって、「学校と地域の連携」現代社会のあり様と教育との関係をどう捉えるかということから出発し、さまざまな領域の実態と課題から教育・学校の実態をマクロな視点で捉える。



**ブルデューの  
教育社会学理論**

—教育システムと社会階級・社会秩序の  
再生産と変革の理論

●小澤浩明 著  
四六判\* 400頁/定価3740円

フランスの社会学者ピエール・ブルデューの「教育社会学理論」の理論的地平と展開過程を解明し、その理論的意義と可能性を論じた研究書。

**「学校教育と社会」ノート 第3版**

—教育社会学への誘い

●山内乾史 著 186頁▼定価2090円

**ダイバーシティ時代の教育の原理**

—多様性と新たなつながりの地平へ

●藤田由美子・谷田川ルミ 編著 224頁▼定価2420円

**検証・全国学力調査**

—悉皆式を止め、抽出式で3年に一度で

●吉益敏文・濱田郁夫・久富善之  
・教育科学研究会 編 126頁▼定価1430円

**新版 教育社会とジェンダー**

●河野銀子・藤田由美子 編著 208頁▼定価2310円

**教育の基礎と展開 第二版**

—豊かな保育・教育のつながりをめざして

●高野良子・武内清 編著 200頁▼定価2200円

**男子問題の時代?**

—錯綜するジェンダーと教育のポリティクス

●多賀太 著 240頁▼定価2420円

教師教育テキストシリーズ5

**教育社会学 第二版**

●久富善之・長谷川裕 編 208頁▼定価2090円



**キャリアを創る**  
—女性のキャリア形成論入門

●天童睦子 編  
A5判\* 88頁/定価990円

女子学生へむけてのキャリア教育の入門書。女性が主体的に自己の人生の展望をひらくことができる時代に、就職や就労のためだけのキャリアではなく、「ライフキャリア」の視点からやさしく解説。



**児童養護施設の  
生活環境のダイナミクス**

—家庭で暮らせない子どもの育ち  
と職員の実践

●山口季音 著  
四六判\* 256頁/定価2750円

優越志向の仲間文化、関係の貧困、即興の支援……。児童養護施設における子どもの「育ち」、職員と相互に紡ぐ生活環境の実態に迫る。フィールドワーク調査から見てきたものとは。

新道徳教育全集 ▼定価各3300円  
日本道徳教育学会全集編集委員会 監修

**1 道徳教育の変遷・展開・展望**

●押谷由夫・貝塚茂樹・高島元洋・毛内嘉威 編著

**2 諸外国の道徳教育の動向と展望**

●柳沼良木・行安茂・西野真由美・林泰成 編著

**3 幼稚園、小学校における**

**新しい道徳教育**

●永田繁雄・浅見哲也・大庭茂美・柴田八重子 編著

**4 中学校、高等学校、特別支援教育**

**における新しい道徳教育**

●柴原弘志・七條正典・澤田浩一・吉本恒幸 編著

**5 道徳教育を充実させる多様な支援**

—大学教育委員会、家庭、社会における取組

●田沼茂紀・島恒生・竹内善一・廣川正昭 編著

**LGBTと女子大学**

—誰もが自分らしく輝ける大学を目指して

●日本女子大学人間社会学部LGBT研究会 編  
64頁▼定価1100円

**女性・人権・生きること**

—過去を知り 未来をひらく

●天童睦子 著 96頁▼定価1100円

# 目次

	(頁)
○大会日程	… 3
○ご案内	… 4
◇9月10日(金)	(頁)
若手研究者交流会 (19:00～21:00)	6
◇9月11日(土)	
研究発表Ⅰ (9:00～11:40 *)	(頁)
I-1 教育の歴史社会学(1)	7
I-2 初等・中等教育(1)	8
I-3 高等教育・キャリア(1)	9
I-4 ジェンダーと進路	10
I-5 社会階層	11
I-6 教育政策・制度	12
I-7 異文化と教育	13
I-8 経済と社会	14
(※ 終了予定時刻は、部会ごとに異なります)	
研究発表Ⅱ (14:30～16:25 *)	(頁)
Ⅱ-1 教育の歴史社会学(2)	15
Ⅱ-2 いじめ問題	16
Ⅱ-3 理論	17
Ⅱ-4 教師(1)	18
Ⅱ-5 教育と差別・人権	19
Ⅱ-6 進路と教育	20
Ⅱ-7 特別支援教育	21
Ⅱ-8 グローバリゼーションと教育	22
(※ 終了予定時刻は、部会ごとに異なります)	

研究発表Ⅲ (16:45～18:40 *)	(頁)
Ⅲ-1 ジェンダーと教育(1)	23
Ⅲ-2 研究方法	24
Ⅲ-3 教育の歴史社会学(3)	25
Ⅲ-4 青少年	26
Ⅲ-5 教育問題	27
Ⅲ-6 家族と教育(1)	28
Ⅲ-7 初等・中等教育(2)	29
Ⅲ-8 教師(2)	30

(\* 終了予定時刻は、部会ごとに異なります)

#### ◇9月12日(日)

研究発表Ⅳ (9:00～12:00 *)	(頁)
Ⅳ-1 家族と教育	31
Ⅳ-2 ジェンダーと教育(2)	32
Ⅳ-3 高等教育・キャリア(2)	33
Ⅳ-4 高等教育の制度・政策	34
Ⅳ-5 高等教育と社会とのつながり	35
Ⅳ-6 地域社会と生涯教育	36
Ⅳ-7 社会階層と家族	37
Ⅳ-8 Educational Reform	38

(\* 終了予定時刻は、部会ごとに異なります)

課題研究 (13:30～16:30)	(頁)
Ⅰ 学校で起こる教育課題に教育社会学は どう貢献できるか?(2)	39
Ⅱ 能力主義を問い直す	40
Ⅲ 「持続可能性」の知識社会学と越境的思考	41

◇オンデマンド報告	42
-----------	----



# 大会日程

前日:9月10日(金)		
19:00	—	21:00 若手研究者交流会
第1日:9月11日(土)		
9:00	—	11:40 * 研究発表 I
11:40	—	12:50 昼食
12:50	—	13:10 大会校挨拶
13:10	—	14:00 総会
14:00	—	14:25 学会奨励賞 授与式
14:25	—	14:30 休憩
14:30	—	16:25 * 研究発表 II
16:25	—	16:45 休憩
16:45	—	18:40 * 研究発表 III
第2日:9月12日(日)		
9:00	—	11:55 * 研究発表 IV
12:00	—	13:30 昼食
13:30	—	16:30 課題研究 I
		課題研究 II
		課題研究 III

(\* 終了予定時刻は、部会ごとに異なります)

# 各種会合

前日:9月10日(金)		
13:30	—	15:00 編集委員会
15:00	—	16:00 常務会
16:00	—	18:00 理事会
第1日:9月11日(土)		
12:00	—	12:50 総会打ち合わせ
第2日:9月12日(日)		
12:05	—	12:50 評議員懇談会
12:05	—	12:50 課題研究 I・II・III 打ち合わせ
12:05	—	12:50 新常務会
12:50	—	13:25 新理事会

# ご案内

1. 会場 教育社会学会ウェブサイト(<https://jses-web.jp/>)より、オンライン会場に入場してください。
2. 入場資格 本大会は、大会参加申込をして頂き、大会参加費をお支払いの方のみ参加できます。参加申込の期限は 8月27日(金) 17:00 です。  
大会Webサイト(学会ホームページ <https://jses-web.jp/> からリンクしております)からお申込み下さい。
- |         |              |              |
|---------|--------------|--------------|
| 【大会参加費】 | 会員(一般)4,500円 | 会員(学生)2,000円 |
|         | 臨時(一般)5,000円 | 臨時(学生)2,500円 |
- 【要旨集録】 オンライン会場にて入手できます。
- 【懇親会】 懇親会はありません。
3. Zoom 利用について Zoom を利用してのオンライン開催となりますが、Zoom 利用の手引き、視聴者の参加ガイドライン、発表者の参加ガイドラインなどは、追って、ホームページに掲載します。
4. 発表時間 <ライブ型発表について>  
発表時間は、発表者の人数によって下記ようになります。  
発表者 1名……発表 20分＋質疑応答 5分  
発表者 2名以上……発表 40分＋質疑応答 10分  
発表時間は厳守願います。  
本大会は、総括討論を行いません。  
なお、司会者と発表者の方は、事前に接続状況や運営手順を確認するため、部会開始 15分前に各部会の会場に入場してください。
- <オンデマンド型発表について>  
おおむね、ライブ型発表に準じて行います。
5. 欠席の場合 発表者が欠席するときは、9月9日(木)までに必ず、大会実行委員会に E-mail でお知らせください。  
発表者が欠席の場合に、発表時間の繰り上げは行いません。

6. 司会者の方へ オンライン開催に伴い、発表時間を管理する補助者(タイムキーパー)を部会に配置していません。司会者の皆様で時間管理を行ってくださいますよう、お願い申し上げます。

7. 発表者の方へ **カラー資料作成の手引き**  
**～色覚バリアフリーの実現にむけて～**

本学会では、学会発表や学会活動のさまざまな場面において「色覚バリアフリー」の実現をめざしています。色覚バリアフリーとは、色彩の識別が困難な人たちが一定の割合でいらっしゃるという科学的見地にもとづき、大会発表資料等におけるカラー色の使い方の配慮など、適切な工夫が必要であるという考え方です。誰にとってもわかりやすい資料提示をめざし、特にカラー資料の提示の際には、次の点にご配慮くださいますよう、お願い申し上げます。

- ① 赤と緑の識別が困難な場合が多いので、配慮する。
- ② レーザーポインターは、緑のポインターが望ましい。
- ③ 明度の差を利用し、コントラストのはっきりした色の塗り分けを工夫する。
- ④ 輪郭線や境界線で、塗り分けの境を強調する。
- ⑤ ひとつの図版に使う色数は、なるべく少なくする。
- ⑥ 対象箇所を各色で示さず、場所や形でも指定する。  
(例:この四角い赤のマークは…)

8. 資料の配布 オンライン開催に伴い、各種発表資料の配布は、ウェブサイト上で行います。詳しくは大会ウェブサイトでご確認ください。

# 若手研究者交流会

9月10日(金) 19:00-21:00

若手研究者交流会を、大会前日の9月10日(金)に、オンラインにて開催します。

若手研究者交流会の目的は、大学院生をはじめとする若手の研究者が、研究室・大学をこえた交流をとおして、研究上の関心や課題と新たな気づきを共有し、また研究者相互のネットワークを拡充することです。本交流会を担当する教育部では、できるだけ若手の目線で企画を立てるべく、若い世代の部員を交えて議論を重ねてきました。

そこで今年度は、下記の2つのラウンドテーブルを用意しました。いずれか1つのテーブルを選んでご参加ください。参加は無料で、非会員も自由に参加できます。

参加には、事前の申し込みが必要です。学会ウェブサイトに詳細を掲載するので、案内に従って申し込みフォームに必要事項を記入して送信してください。ご登録いただいたメールアドレス宛に、当日のZoom会場の情報等を送付します。その他、本交流会に関する**最新の情報は学会ウェブサイト上**に、必要に応じて発表します。適宜ご参照いただきたくお願い申し上げます。

## 【日時】

2021年9月10日(金) 19:00-21:00 (懇親会は開催しません)

## 【場所】

Zoom

## 【参加対象】

大学院生や初期キャリア段階の大学教員など、**教育社会学に関心をもつ若手研究者。非会員や学部生も、参加可能です。**参加費は無料です。参加には、**事前の申し込みが必要**で、8月上旬に申し込みを開始します。詳細は適宜、学会ウェブサイトをご参照ください。

## 【ラウンドテーブル】

ラウンドテーブルⅠー大学院生のサバイバル・ストラテジー

大学院生の関心や課題についての話題提供と質疑応答の後、小グループでの交流を予定します。主なトピックは、修論・博論執筆、論文投稿などです。

<話題提供者>

梅田 崇広(愛媛大学)

数実 浩佑(宝塚大学)

<司会>

上地 香杜(静岡大学)

ラウンドテーブルⅡー若手大学教員のキャリア・マネジメント

大学教員の初期キャリア段階(任期付・ポスドク含む)を想定した話題提供と質疑応答の後、小グループでの交流を予定します。主なトピックは、キャリアの変遷・展望です。

<話題提供者>

吉田 美穂(弘前大学)

高橋 靖幸(新潟県立大学)

<司会>

金南 咲季(椋山女学園大学)

## 【準備物】

研究者間の交流を目的としているため、カメラの使用を推奨します。ただし、機器が準備できないなど特別な事情がある場合には、カメラをOFFにして参加することも可能です。

## ※企画担当

教育部 内田 良(名古屋大学)、 間山 広朗(神奈川大学)、 内田 康弘(愛知学院大学)

## I - 1 部会

### 教育の歴史社会学（1）

9月11日（土）9:00-11:25

---

#### 司会

伊藤彰浩（名古屋大学） 井上義和（帝京大学）

- 9:00-9:25  
【10101】
1. 特別な配慮が必要とされる児童に関する原因・対処法論の社会-歴史的特徴  
—明治後期の「劣等児」に関する記述から—  
井出大輝（立教大学大学院）
- 9:30-9:55  
【10102】
2. 「少年の主張」に映された「未来」の姿  
—青少年育成国民会議が主催する全国大会（1979～2008年）に着目して—  
王令薇（京都大学大学院/日本学術振興会）
- 10:00-10:25  
【10103】
3. 同郷上京学生の支援と継続性  
—会津学生寮を事例として—  
遠藤健（早稲田大学）
- 10:30-10:55  
【10104】
4. 近代実業都市・神戸における進学・就職と地理移動  
—神戸高等商業学校卒業生の分析—  
加藤善子（信州大学）
- 11:00-11:25  
【10105】
5. 戦後日本における学習と努力の価値観をめぐる教育言説の分析  
—秀才をめぐる言論に着目して—  
○相澤真一（上智大学）  
池田大輝（東京大学大学院）

## I - 2 部会

### 初等・中等教育（1）

9月11日（土）9:00-11:45

---

司会

菊地栄治（早稲田大学） 内田良（名古屋大学）

- |                        |   |
|------------------------|---|
| 9:00-9:25<br>【10201】   | 1. 学校現場におけるエビデンスの限界と可能性<br>—小学校学級活動に関する研究からの考察—<br>長谷川祐介（大分大学）  |
| 9:30-9:55<br>【10202】   | 2. 小中学校学力パネルデータの構築と課題<br>川口俊明（福岡教育大学）   |
| 10:00-10:50<br>【10203】 | 3. 小学校の学級経営に関するナラティブ分析<br>—ナラティブ・コミュニティの構成過程に着目して—<br>○白松賢（愛媛大学）<br>○梅田崇広（愛媛大学）   |
| 10:55-11:45<br>【10204】 | 4. コロナ禍における幼児教育から小学校教育への移行<br>—保護者を対象とした Web 調査の結果をもとに—<br>○酒井朗（上智大学）<br>○伊藤秀樹（東京学芸大学）<br>○谷川夏実（明治学院大学）<br>○林明子（大妻女子大学） |

## I - 3 部会

### 高等教育・キャリア（1）

9月11日（土）9：00-11：20

---

司会

中村高康（東京大学） 北村友人（東京大学）

- 9：00-9：25 1. 中国における大学生のキャリア意識の規定要因  
【10301】 成情情（広島大学大学院）
- 9：30-9：55 2. パイデン政権のコミュニテカレッジ無償化計画と中間層学生支援  
【10302】 宇田川拓雄（嘉悦大学）
- 10：00-10：25 3. バカロレア試験で測られる能力をどのように高等教育へ繋ぐか  
【10303】 —「各学問領域で期待される要素の全国共通枠組み」の検討から—  
田川千尋（大阪大学）
- 10：30-11：20 4. 日米大学（院）卒業生とコロナ時代の大学（院）生のグローバル・  
【10304】 コンピテンスの習得状況  
○山田礼子（同志社大学）  
○杉谷祐美子（青山学院大学）  
荒井克弘（大学入試センター）  
塚原修一（関西国際大学）  
小笠原正明（北海道大学）  
森利枝（大学改革支援・学位授与機構）  
木村拓也（九州大学）  
堺完（大分大学）  
山崎慎一（桜美林大学）  
山田垂紀（玉川大学）  
ビリー・スティーブ（同志社大学）  
楊夷（中部大学）

## I - 4 部会

# ジェンダーと進路

9月11日(土) 9:00-11:20

---

### 司会

岩永雅也(放送大学) 野田文香(大学改革支援・学位授与機構)

- 9:00-9:25 1. 日本の教育システムと女性の進路分化  
【10401】 —2000年以降の持続と変化に関する分析—  
佐野和子(大阪商業大学)
- 9:30-9:55 2. 短期高等教育進学者の特徴と変容  
【10402】 多喜弘文(法政大学)
- 10:00-10:25 3. 高等教育のSTEM分野への希望・進学とジェンダー  
【10403】 —職業期待の性差を手がかりとして—  
白川俊之(広島大学)
- 10:30-11:20 4. 地方の女性におけるキャリア形成  
【10404】 —専門学校生を事例に—  
○片山悠樹(愛知教育大学)  
○尾川満宏(広島大学)  
○都島梨紗(岡山県立大学)  
○上地香杜(静岡大学)  
岩脇千裕(労働政策研究・研修機構)  
児島功和(山梨学院大学)  
内田康弘(愛知学院大学)



## I - 5 部会

### 社会階層

9月11日(土) 9:00-11:25

---

司会

三輪哲(東京大学) 園山大祐(大阪大学)

- |                        |   |
|------------------------|---|
| 9:00-9:25<br>【10501】   | 1. いじめ被害者および加害者の社会経済的地位の関連<br>真田英毅(東北大学大学院) |
| 9:30-9:55<br>【10502】   | 2. 看護職の社会階層上の位置づけに関する検討<br>小川和孝(東北大学)       |
| 10:00-10:25<br>【10503】 | 3. 新型コロナ禍中の教育格差<br>松岡亮二(早稲田大学)              |
| 10:30-10:55<br>【10504】 | 4. 学歴間賃金格差が拡大したのは本当なのか?<br>豊永耕平(立教大学)       |
| 11:00-11:25<br>【10505】 | 5. 貸与奨学金利用における社会経済的格差<br>古田和久(新潟大学)         |

## I - 6 部会

### 教育政策・制度

9月11日(土) 9:00-11:20

---

#### 司会

田中統治(放送大学) 浅沼茂(立正大学)

- 9:00-9:25 1. 台湾のICT教育の展開と課題  
【10601】 —新型コロナウイルスの影響に着目して—  
劉語霏(台湾・中国文化大学)
- 9:30-9:55 2. 準公式の普通教育  
【10602】 —教育機会確保法が開くもの—  
高山龍太郎(富山大学)
- 10:00-10:25 3. 学校選択制を介した学校の教育実践・文化の棲み分けの進行  
【10603】 —大阪市X区のフィールド調査より—  
濱元伸彦(関西学院大学)
- 10:30-11:20 4. 子どもの貧困対策法は学校システムにどのような影響をもたらさうか  
【10604】 —貧困を生きる子ども・若者の排除と包摂(2)—  
○知念渉(神田外語大学)  
○栗原和樹(一橋大学大学院)  
○田中祐児(東京大学大学院)  
○瀬戸麗(大阪大学大学院)  
志水宏吉(大阪大学)

## I - 7 部会

### 異文化と教育

9月11日(土) 9:00-11:20

---

司会

小内透(札幌国際大学) 渋谷真樹(日本赤十字看護大学)

- 9:00-9:25  
【10701】
1. マイノリティ多数在籍校におけるニューカマー生徒支援の課題  
—異なる歴史的な文脈を有する学校の比較分析から—  
伊藤莉央(大阪大学大学院)
- 9:30-9:55  
【10702】
2. 定時制高校に通う移民の生徒と教育福祉  
本間桃里(京都大学大学院)
- 10:00-10:25  
【10703】
3. 外国にルーツを持つ生徒と教師の複数言語を用いた相互作用  
—日本の公立高校で行われる母語の授業を例に—  
王一瓊(大阪大学大学院)
- 10:30-11:20  
【10704】
4. 外国につながる子どもの把握と支援の在り方  
○吉田美穂(弘前大学)  
○桐村豪文(弘前大学)

## I－8部会

### 経済と社会

9月11日(土) 9:00-10:55

---

#### 司会

倉石一郎(京都大学) 濱中義隆(国立教育政策研究所)

- 9:00-9:25  
【10801】
1. 学校の中退経験が初期キャリアに及ぼす影響  
—「高校生と母親調査」による実証分析—  
石田賢示(東京大学)
- 9:30-9:55  
【10802】
2. PIAACのマイクロデータを通して分析する日本の特異性  
—仕事におけるスキルの使用を中心に—  
○廣田英樹(国立教育政策研究所)  
白川優治(千葉大学)
- 10:00-10:25  
【10803】
3. 学歴別「生涯所得」のコーホート間比較  
—就業構造基本調査を用いた疑似パネルデータ分析—  
尾嶋史章(同志社大学)
- 10:30-10:55  
【10804】
4. 課外活動の促進と安全  
江原昭博(関西学院大学)

## Ⅱ－１部会

### 教育の歴史社会学（２）

9月11日（土）14：30－15：55

---

司会

稲垣恭子（京都大学） 土田陽子（帝塚山学院大学）

- 14：30－14：55 1. 60年代初頭の純潔教育資料の特徴とその背景  
【20101】 中山良子（和歌山工業高等専門学校（非常勤））
- 15：00－15：25 2. 近代日本における女性文化人の輩出過程に関する考察  
【20102】 —「私の履歴書」執筆者の事例から—  
多賀太（関西大学）
- 15：30－15：55 3. オリエンタリズム・ナショナリズム・セクシュアリティ  
【20103】 —明治34年弘前女学校の卒業論文「矯風会標榜五條」のテキストマイニング—  
片瀬一男（東北学院大学）

## Ⅱ－２部会

### いじめ問題

9月11日（土）14：30－16：20

---

#### 司会

加野芳正（香川短期大学） 阿形健司（同志社大学）

- 14：30－14：55 1. 非行少年のいじめ経験とその特徴  
【20201】 — 少年院の質的調査を通じて —  
作田誠一郎（佛教大学）
- 15：00－15：25 2. いじめ問題とはなんだったのか（1）  
【20202】 — 四層構造論を検証する —  
山本雄二（関西大学）
- 15：30－16：20 3. ネットいじめの構造とその対策に関する実証的研究（Ⅵ）  
【20203】  
○原清治（佛教大学）  
○松浦善満（大阪千代田短期大学）  
○山内乾史（神戸大学）  
大多和直樹（お茶の水女子大学）  
小針誠（青山学院大学）  
小林至道（青山学院大学）  
浅田瞳（華頂短期大学）  
西谷雅史（エースチャイルド）

## Ⅱ－３部会

### 理論

9月11日(土) 14:30-15:55

---

#### 司会

渡邊雅子(名古屋大学) 紅林伸幸(常葉大学)

- 14:30-14:55 1. 教育における「自由」の問題系  
【20301】 —フロム理論から考える—  
大橋隆広(広島女学院大学)
- 15:00-15:25 2. ウェーバーからはじめる〈教育の社会学〉の再駆動  
【20302】 —社会問題の教育化 educationalization と再呪術化—  
倉石一郎(京都大学)
- 15:30-15:55 3. カリキュラムの教育社会学者マイケル・F・D・ヤングたちが標榜する  
【20303】 social realismを検討する —その立論・影響そして抱える課題—  
○柳田雅明(青山学院大学)  
望月重信(明治学院大学名誉教授)  
森岡修一(大妻女子大学名誉教授)

## Ⅱ－４部会

### 教師（１）

9月11日（土）14：30－16：25

---

#### 司会

葛上秀文（鳴門教育大学） 川村光（関西国際大学）

- 14：30－14：55 1. 養護教諭のストラテジーに関する一考察  
【20401】 — 生徒-養護教諭-教諭の三者関係に着目して —  
堂本志保（関西大学大学院）
- 15：00－15：25 2. 若手教員の教職経験における「つまづき」の分析  
【20402】 高嶋江（立教大学大学院）
- 15：30－15：55 3. 休職過程への物語的構成  
【20403】 伊勢本大（松山大学）
- 16：00－16：25 4. 学校教員の指導における平等観  
【20404】 中村瑛仁（大阪大学）



## Ⅱ－５部会

### 教育と差別・人権

9月11日（土）14：30－16：25

---

司会

北澤毅（立教大学） 西田芳正（大阪府立大学）

- 14：30－14：55 【20501】 1. 子どもにとっての生活保護という経験  
長澤敦士（京都大学大学院）
- 15：00－15：25 【20502】 2. ブラジルにおけるアフターマティブ・アクションの検討  
—ブラジリア大学大学生のインタビュー調査に基づいた研究—  
山脇佳（大阪大学大学院）
- 15：30－15：55 【20503】 3. わが子が特別支援学級に入る経験を、外国人の母親はどのように受容するか  
—内面化、感謝、沈黙—  
金春喜（無所属）
- 16：00－16：25 【20504】 4. 公立中学校教師の「性の多様性」に関する意識と教育実践  
—保健体育教諭と養護教諭へのインタビュー調査から—  
YANG HANG（筑波大学）

## Ⅱ－6部会

### 進路と教育

9月11日（土）14：30－16：25

---

#### 司会

本田由紀（東京大学） 荒牧草平（日本女子大学）

- 14：30－14：55 1. 地方県の非都市部からの大学進学への障壁  
【20601】 田垣内義浩（東京大学大学院）
- 15：00－15：25 2. 移民家族の大学進学を分岐させる社会的要因  
【20602】 —在日ブラジル人家族を事例に—  
大川ヘナン（大阪大学大学院）
- 15：30－15：55 3. 二重労働市場における「よいポジション」の規定要因の検討  
【20603】 —汎用的スキルの効果に着目して—  
瀬戸健太郎（早稲田大学大学院）
- 16：00－16：25 4. 社会的属性による「受験浪人」選択の可否の分析  
【20604】 佐伯厘咲（大阪大学大学院）

## Ⅱ－7部会

### 特別支援教育

9月11日（土）14：30－15：55

---

司会

堀健志（上越教育大学） 堀家由妃代（佛教大学）

- 14：30－14：55 【20701】 1. 「共在」としてのインクルーシブ教育  
—関係論的／空間的包摂の視角から—  
久保田裕斗（京都大学大学院）
- 15：00－15：25 【20702】 2. 他者性を再特定化するインクルーシブ教育の可能性  
佐藤貴宣（立命館大学）
- 15：30－15：55 【20703】 3. 学童保育における「発達障害」概念の浸透とそれに伴う指導員の葛藤  
保坂克洋（東海大学）

## Ⅱ－８部会

### グローバルゼーションと教育

9月11日（土）14：30－16：25

---

司会

米澤彰純（東北大学） 芦田明美（早稲田大学）

- 14：30－14：55 【20801】 1. 台湾の「2030年バイリンガル国家」実現へのプロセス  
—多文化社会における新教育制度と母語教育の事例を中心に—  
齋藤幸世（関西学院大学大学院）
- 15：00－15：25 【20802】 2. 在留資格（ビザ）の視点から見た「グローカリゼーション」の概念  
矢澤健太郎（東京国際ビジネスカレッジ専門学校）
- 15：30－15：55 【20803】 3. 「言語の巢」の展開と課題  
野崎剛毅（札幌国際大学短期大学部）
- 16：00－16：25 【20804】 4. 海外での就業経験とキャリア形成  
香川めい（大東文化大学）

### Ⅲ－１部会

## ジェンダーと教育（１）

9月11日（土）16：45－18：40

---

司会

小玉亮子（お茶の水女子大学） 白川俊之（広島大学）

- 16：45－17：10 1. 若者はどのような結婚が求められたのか  
【30101】 —高等学校保健体育科教科書の分析—  
反橋一憲(早稲田大学大学院)
- 17：15－17：40 2. 歌壇における世代論を伴ったジェンダー語りについて  
【30102】 松田康介(京都大学大学院)
- 17：45－18：10 3. 逸脱行為をめぐる語りにもみるジェンダー  
【30103】 —刑務所における対話的教育（改善指導）から—  
仲野由佳理(日本大学)
- 18：15－18：40 4. 学校教育における「ジェンダー『問題』」の可視化およびその変容に関する  
【30104】 言説分析 —「カテゴリー」と「多様性」に注目して—  
藤田由美子(福岡大学)

## Ⅲ－２部会

### 研究方法

9月11日（土）16：45－18：10

---

#### 司会

小林雅之（桜美林大学） 高橋均（北海道教育大学）

- 16：45－17：10 【30201】 1. 無作為抽出者に対するミクストモード調査の可能性  
—ウェブ法と郵送法の比較から—  
平沢和司（北海道大学）
- 17：15－17：40 【30202】 2. 教育問題におけるWeb調査の可能性  
○澤田涼（名古屋大学大学院）  
古殿真大（名古屋大学大学院）  
藤川寛之（名古屋大学大学院）  
島袋海理（名古屋大学大学院）  
内田良（名古屋大学）
- 17：45－18：10 【30203】 3. 子育て家庭におけるフィールド調査の課題と視点  
—大都市近郊での4年間の調査経験から—  
○金南咲季（相山女学園大学）  
敷田佳子（龍谷大学）  
伊佐夏実（宝塚大学）  
志田未来（日本女子大学）

### Ⅲ－３部会

## 教育の歴史社会学（３）

9月11日（土）16：45－18：10

---

司会

加藤隆雄（南山大学） 元森絵里子（明治学院大学）

- 16：45－17：10 【30301】 1. 田中館愛橘の「ローマ字国字論」の一考察  
—日本文化と「国際化」をめぐって—  
益田かな子（神戸女子大学大学院）
- 17：15－17：40 【30302】 2. 学校給食における就学奨励と養護  
—昭和7年「学校給食臨時施設方法」に着目して—  
佐藤知菜（筑波大学大学院）
- 17：45－18：10 【30303】 3. 小売商の会計リテラシー  
—1930年代の商店簿記運動を中心に—  
江口潔（九州大学）

### Ⅲ－４部会

## 青少年

9月11日（土）16：45－18：35

---

#### 司会

古賀正義（中央大学） 白松賢（愛媛大学）

- 16：45－17：10 1. 標準的ライフコースの呪縛  
【30401】 —夢を諦めさせられたバンドマンを事例に—  
野村駿（秋田大学）
- 17：15－17：40 2. デジタル読書の浸透過程にみる青少年の「育ち」への影響  
【30402】 —「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」データを手がかりに—  
腰越滋（東京学芸大学）
- 17：45－18：35 3. 高校生はどのように貧困を経験したのか  
【30403】 —貧困を生きる子ども・若者の排除と包摂（1）—  
○西田芳正（大阪府立大学）  
○数実浩佑（宝塚大学）  
○山口真美（大阪大学大学院）  
○西徳宏（大阪大学）  
志水宏吉（大阪大学）



### Ⅲ－５部会

## 教育問題

9月11日（土）16：45－18：40

---

司会

内藤朝雄（明治大学） 加藤美帆（東京外国語大学）

- 16：45－17：10 1. 戦前の「不登校」言説はいかに構築されたか  
【30501】 —1930年代の教育相談の分析から—  
柴田恵輔（早稲田大学大学院）
- 17：15－17：40 2. 今日における不登校の意味づけ  
【30502】 佐々木龍平（広島大学大学院）
- 17：45－18：10 3. 「ブラック校則」が生み出されるメカニズムに関する一考察  
【30503】 —学校文化とストラテジーの視点から—  
原田琢也（金城学院大学）
- 18：15－18：40 4. 体罰肯定意識の形成過程に関する検討  
【30504】 —運動部活動経験者のキャリア形成の視点から—  
長谷川誠（神戸松蔭女子学院大学）

### Ⅲ－6 部会

## 家族と教育（1）

9月11日（土）16：45－18：35

---

#### 司会

葛城浩一（香川大学） 額賀美紗子（東京大学）

- 16：45－17：10 1. ひとり親世帯出身者の男女格差  
【30601】 —教育達成と教育達成を取り巻く社会意識に着目して—  
吉川錬太郎（早稲田大学大学院）
- 17：15－17：40 2. 保護者調査における父親回答の代表性  
【30602】 鷲島修治（群馬大学）
- 17：45－18：35 3. 母親の働き方が子どもの進路意識に与える影響とコロナ禍における変化（2）  
【30603】 ○西本裕輝（琉球大学）  
○馬居政幸（静岡大学名誉教授/静岡県立大学（非常勤））  
望月重信（明治学院大学名誉教授）

Ⅲ－７部会

初等・中等教育（２）

９月１１日（土） 16：45－18：35

---

司会

酒井朗（上智大学） 山田哲也（一橋大学）

- 16：45－17：10 【30701】 1. 学校における職業的境界の形成と専門知識・技術  
保田直美（関西大学（非常勤））
- 17：15－17：40 【30702】 2. 日本近代における生徒の懲戒方法論の形成過程  
—明治期の米国学校管理論の受容に焦点化して—  
水谷智彦（尚綱大学）
- 17：45－18：35 【30703】 3. ネットいじめの構造とその対策に関する実証的研究（Ⅶ）  
—ネットいじめの磁場を探る—  
原清治（佛教大学）  
松浦善満（大阪千代田短期大学）  
山内乾史（神戸大学）  
○大多和直樹（お茶の水女子大学）  
小針誠（青山学院大学）  
小林至道（青山学院大学）  
○浅田瞳（華頂短期大学）  
○西谷雅史（エースチャイルド）

### Ⅲ－８部会

## 教師（２）

9月11日（土）16：45－18：35

---

#### 司会

越智康詞（信州大学） 伊藤秀樹（東京学芸大学）

- 16：45－17：10 【30801】 1. 非正規雇用教員の実態と課題に関する総合的研究  
—制度的変遷とインタビュー調査を中心に—  
○山田真紀（相山女学園大学）  
藤田英典（都留文科大学）
- 17：15－17：40 【30802】 2. 小規模学級編制は教師の多忙化を防ぐのか？  
中西啓喜（桃山学院大学）
- 17：45－18：35 【30803】 3. 社会問題としての〈教師の多忙化〉  
—新聞言説と教師の語りに着目して—  
○粕谷圭佑（奈良教育大学）  
○井筒優菜（葛飾区立上千葉小学校）  
○岸上直樹（立教小学校）

## IV－1 部会

### 家族と教育（2）

9月12日（日）9：00－11：25

---

#### 司会

恒吉僚子（文京学院大学） 石黒万里子（東京成徳大学）

- 9：00－9：25  
【40101】
1. 不登校の「親・家庭原因説」の歴史的検討  
—1950年代～80年代を中心に—  
赤池紀子（早稲田大学大学院）
- 9：30－9：55  
【40102】
2. 子どもの政治知識の社会化  
—親子調査を用いた政党認知の分析—  
太田昌志（早稲田大学大学院）
- 10：00－10：25  
【40103】
3. 臨時休校における保護者の対応について  
小西凌（三重大学）
- 10：30－10：55  
【40104】
4. 学校教育における「生活指導」がどのように語られるのか  
—中国農村部の親を対象としたインタビュー調査から—  
劉麗鳳（日本大学）
- 11：00－11：25  
【40105】
5. 児童養護施設における教育環境の構築過程  
山口季音（至誠館大学）

## IV－２部会

### ジェンダーと教育（２）

9月12日（日）9：00－11：55

---

司会

木村涼子（大阪大学） 多賀太（関西大学）

- 9：00－9：25 1. 文系／理系意識の形成とジェンダー  
【40201】 田邊和彦（大阪大学大学院/日本学術振興会）
- 9：30－9：55 2. 同性愛者が語る学校経験  
【40202】 —セクシュアル・アイデンティティの時間的推移に着目して—  
島袋海理（名古屋大学大学院）
- 10：00－10：25 3. なぜ選抜的の大学に進学する女性は少ないのか？  
【40203】 —ケア期待の内面化と地位達成志向の役割—  
打越文弥（プリンストン大学）
- 10：30－10：55 4. 大学生の性役割意識とキャリア  
【40204】 伊佐夏実（宝塚大学）
- 11：00－11：25 5. 専門学校生の進路選択とジェンダー  
【40205】 眞鍋倫子（中央大学）
- 11：30－11：55 6. ジェンダー表現をめぐる国際的広告自主規制基準の動向と日本の課題  
【40206】 —国際商業会議所（ICC）と英広告基準協議会（ASA）のガイドライン・  
研修システムを中心に—  
岩本健良（金沢大学）

## IV－3部会

### 高等教育・キャリア（2）

9月12日（日）9：00－11：20

---

#### 司会

堀有喜衣（労働政策研究・研修機構） 濱中淳子（早稲田大学）

- 9：00－9：25  
【40301】
1. 高専進学を促す要因と学生の進路意識から捉えた高専教育の役割  
—X 高専進学者の特徴の分析を中心に—  
加藤朱莉（関西学院大学大学院）
- 9：30－9：55  
【40302】
2. 大学中退理由の複合性と、中退時期との関連の探索的検討  
下瀬川陽（作新学院大学）
- 10：00－10：25  
【40303】
3. 高校・大学・仕事におけるレポートライティング経験の連鎖構造  
—社会科学分野と工学分野の比較—  
小山治（京都産業大学）
- 10：30－11：20  
【40304】
4. 人文社会系大学教育の習得度と社会意識  
—専門分野に注目して—  
○本田由紀（東京大学）  
○二宮祐（群馬大学）

IV－4部会

高等教育の制度・政策

9月12日(日) 9:00-10:50

---

司会

山内乾史(神戸大学) 阿曾沼明裕(東京大学)

- 9:00-9:25  
【40401】
1. 攻撃される学問の自由  
—中国における学問の自由の状況—  
羽田貴史(広島大学名誉教授/東北大学名誉教授)
- 9:30-9:55  
【40402】
2. 大学院受験・進学からみる現代日本の大学院観  
齋藤崇徳(大学改革支援・学位授与機構)
- 10:00-10:50  
【40403】
3. 修学支援新制度の効果検証  
○小林雅之(桜美林大学)  
○濱中義隆(国立教育政策研究所)



## IV－5部会

### 高等教育と社会とのつながり

9月12日（日）9：00－11：20

---

#### 司会

藤埴智一（宮崎大学） 両角亜希子（東京大学）

- 9：00－9：25  
【40501】
1. コロナ状況下における大学の研究室コミュニティ  
小泉かさね（大阪大学大学院）
- 9：30－9：55  
【40502】
2. 地方における社会教育への参画と大学のリカレント教育  
原田健太郎（島根大学）
- 10：00－10：25  
【40503】
3. フランス国立工芸院（CNAM）の歴史的・社会的検討  
白鳥義彦（神戸大学）
- 10：30－11：20  
【40504】
4. 日本の公的研究所における外国人研究者の雇用と役割に関する研究  
○黄福涛（広島大学）  
○大膳司（広島大学）  
○三好登（広島大学）  
米澤彰純（東北大学）  
白川展之（新潟大学）  
李敏（信州大学）  
金良善（広島大学）

## IV－6部会

### 地域社会と生涯教育

9月12日（日）9：00－11：25

---

#### 司会

田中雅文（日本女子大学） 赤尾勝己（関西大学）

- 9：00－9：25  
【40601】 1. 脱教養主義的な教養に関する一考察  
石塚公康（読売新聞社）
- 9：30－9：55  
【40602】 2. 若者支援における中・長期型プログラムの意義に関する検討  
—若者支援スタッフと受講者へのインタビュー調査の結果から—  
小山田建太（常磐大学）
- 10：00－10：25  
【40603】 3. 高等学校（後期中等教育）を卒業した知的・発達障害者の進路に対する意識に  
関する調査研究  
井上信次（新見公立大学）
- 10：30－10：55  
【40604】 4. 地方都市における学校外の不登校生の居場所の官民協働に関する一考察  
—中間支援組織という概念を糸口に—  
竹中烈（愛知文教大学）
- 11：00－11：25  
【40605】 5. 義務教育におけるトラッキングと地域間格差の趨勢  
村山詩帆（佐賀大学）

## IV－7 部会

### 社会階層と家族

9月12日（日）9：00－10：25

---

司会

平澤和司（北海道大学） 鈴木翔（秋田大学）

- 9：00－9：25  
【40701】
1. 中国上海市における小学生を持つ親の教育戦略の選択  
—子どもの勉強への考え方の階層的差異に着目して—  
余常清（日本大学大学院）
- 9：30－9：55  
【40702】
2. 高校階層構造と教育達成  
—「中学生と母親パネル調査」（JLPS-J）を用いた分析—  
藤原翔（東京大学）
- 10：00－10：25  
【40703】
3. きょうだい構成と進路選択のメカニズム  
苫米地なつ帆（大阪経済大学）

## IV－8 部会

### Educational Reform

9月12日(日) 9:00-11:25

---

#### 司会

Kagawa, Mei (Daito Bunka University) Yang, Ju (Suzhou University of Science and Technology)

- 9:00-9:25  
【40801】
1. Inquiring and Struggling on teachers' roles  
: Case study on the changes of class-Team-Group system in Beijing, China  
KAN Wei and HAN xiaohan (Beijing Normal University)
- 9:30-9:55  
【40802】
2. The Effects of International Education in Japanese Higher Education  
: Exploring the Experiences of Taiwanese Graduates  
Chun-Yi Tan (National Taichung University of Education)
- 10:00-10:25  
【40803】
3. The Internationalization of Moroccan Higher Education  
: Between Geopolitical Motivations and Domestic Realities.  
Mohammed Ouhemou (the University of Tsukuba)
- 10:30-10:55  
【40804】
4. Multilingualism in education  
: When state, regional and languages from immigration coexist  
○Isabel SAENZ HERNÁNDEZ (the University of Lleida)  
○Cecilio LAPRESTA REY (the University of Lleida)  
○Ursula HINOSTROZA CASTILLO (the University of Lleida)  
○Fernando SENAR MORERA (the University of Lleida)
- 11:00-11:25  
【40805】
5. Co-researching with Immigrant Youth during COVID-19  
: Dilemma between Protection and Participation  
○Tomoko Tokunaga (University of Tsukuba)  
○Joshi Ratala Dinesh Prasad (Graduate School, The University of Tokyo)

## 学校で起こる教育課題に教育社会学はどう貢献できるか？（2）

—不登校・学校への行き渋り現象を「生きづらさ」との関連で考える—

9月12日（日）13：30-16：30

### 【趣旨】

わが国における学校をとりまくさまざまな問題は、学校で起こる教育課題にとどまらず大きな社会的な課題にまで発展する勢いを見せている。その中心的な問題として指摘されるのがいじめ、不登校などである。いずれも子どもたちの人間関係に起因し、それが「息苦しさ」や「生きづらさ」といった現象に収斂され、解釈されることが多い。

課題研究 I の1年目は、教育社会学の知見を踏まえつつ、教育課題に「貢献」すべきかについて、いじめを中心に研究を進めてきた。

2年目の課題研究 I では、子どもたちの「生きづらさ」に注目して不登校をとりあげたい。その際、コロナ禍で見えてきたいくつかの現象についても視野に入れる必要がある。そのひとつがこれまで不登校気味だった子どもたちのなかに「再」登校するケースが報告され始めていることである。コロナ以前から学校における人間関係の形成やスクールカーストにみられる人間関係の階層性など、子どもたちの生きづらさとして指摘される研究がある。つまり、不登校は「なぜ行きづらくなったか」だけではなく、その現象の背景にある子どもたちの変化に着目することが再検討されるべきであろう。

課題研究 I では、この不登校にどのように接近していけばよいのかといった視点をもつ研究者、すなわち教育社会学のみならず学校臨床学や臨床心理学などの研究者も交え、横断的な視点から不登校の現象について考えてみようと思う。

### 話題提供者

加藤美帆（東京外国語大学）

【50101】 「欠席の戦後史 —長期欠席から登校拒否、不登校へ—」

鈴木翔（秋田大学）

【50102】 「学校の行／生きづらさと学齢期の人間関係をめぐる  
教育社会学研究の貢献可能性とその課題」

土井隆義（筑波大学）（非会員）

【50103】 「コロナ禍における不登校問題  
—相対的剥奪をめぐる光と影—」

須永祐慈（NPO 法人ストップいじめ！ナビ）（非会員）

【50104】 「不登校議論はアップデートできているか  
—不登校の経験者から見える視座—」

### 指定討論者

松浦善満（大阪千代田短期大学）

### 司会

原清治（佛光大学）（研究委員）

山内乾史（神戸大学）（研究委員）

## 能力主義を問い直す

9月12日(日) 13:30-16:30

### 【趣旨】

教育社会学において能力主義＝メリトクラシー（能力や業績を財の分配の基準とすること）を根本的に批判する研究は、ほとんど存在しない。教育機会の不平等の検証を目的とする研究に典型的なように、能力主義自体の望ましさはあらかじめ前提とされていることが多い。論争の賭金はおおむね、「どのような能力主義が望ましいのか」に置かれていたといえるだろう。

このような研究上の姿勢は経験的研究を蓄積する上では有利な自己限定だったかもしれないが、それによって理論的想像力と実践的可能性を犠牲にしていないかどうかは検討の余地がある。とりわけ、出身階層による教育達成・職業的地位達成の格差解消を目指す「機会の平等」の理念が、地位や所得の不平等という「結果の不平等」を正当化する位置にあることの問題は、十分に反省的に考察されてこなかったのではないだろうか。格差社会化・貧困化が進行しつつある現在の日本社会において、この問題のもつ重みは小さくない。

能力や業績による分配を理想に掲げて所得の不平等を正当化する近代資本主義体制は、能力主義批判の難しさの大きな要因である。機会の平等を伴った能力主義を教育社会学が追求してきたのは、この体制を前提としたためだろう。だがしばしば指摘されてきたように、能力主義には少なからぬ問題がある。そもそも能力は直接測定できず、業績の基準も一義的には定まらない。機会の平等によって公正を担保しようとしても、機会の平等化を予想した産業化命題は破綻しており、大筋では学校は階層再生産の装置たらざるを得ない。資本主義の行き詰まりが言われ、対抗的な知にも注目が寄せられる現在、能力主義を擁護しながら格差・貧困に取り組む姿勢は決して自明でない。そのように考えるならば能力主義批判の言語化に向けて、「能力・業績に応じた分配」ではなく「必要に応じた分配」を求める立場からの論考が、ひとつの立脚点となり得るだろう。

本課題研究では、「必要に応じた分配」を求める立場に依拠する研究者を学会内外から登壇者として招き、政策論、規範理論、思想史等の観点から能力主義批判を展開してもらおう。指定討論者には、能力主義を擁護する立場を代表して討論してもらおう。議論を通じて能力主義批判／能力主義擁護の射程と内実を吟味することがこの部会の目標となる。

### 話題提供者

金井利之（東京大学）（非会員）

【50201】 「行政学からみた能力主義」

桜井智恵子（関西学院大学）

【50202】 「能力原理により正当化される配分と支援」

広瀬義徳（関西大学）（非会員）

【50203】 「『能力』から『必要』に応じた分配の構想へ」

### 指定討論者

大多和直樹（お茶の水女子大学）（研究委員）

広田照幸（日本大学）

### 司会

寺崎里水（法政大学）（研究委員）

山口毅（帝京大学）（研究委員）

（研究委員：居郷至伸・大多和直樹・都村聞人・寺崎里水・長谷川誠・堀健志・山口毅）

## 「持続可能性」の知識社会学と越境的思考

9月12日(日) 13:30-16:30

### 【趣旨】

「持続可能性」という言葉は、1990年代に環境保全や生物多様性の確保という意味で使われ始めた。この言葉は、次第に多文化共生や国際的な政治社会課題への理解なども含む意味に拡張されてきた。2015年に国連サミットにおいて持続可能な開発目標(SDGs)が合意され、その意味拡張は更に進んでいる。現在、日本の学習指導要領でも、学校教育で取り上げるべき内容として、「持続可能性」が挙げられている。

本課題研究では、このように変化しつつ正統性を増しているように見える「持続可能性」という概念が、社会的に構成されたものとする。多義的でありながら道徳的な態度変容を促すこの言葉が、現代の様々な言説の基礎知識ようになっていった経緯に、どのようなアクターが関わり、彼らの目的や力学がどのように社会の共有知の生成に影響しているのか。この課題研究では、「持続可能性」という単語を入り口として、知識の生成について議論することを目指す。

山田発表は、当初、教育との接点ではほとんど論じられていなかった「持続可能性」が、地域との連携、高大接続など、国内の教育の様々な課題と絡み合いつつ取り込まれていく過程を1990年からネット上で公開された文書の計量分析によって紐解く。続く仁平発表では、近年、「持続可能性」の言説生産において重要な役割を果たしている企業が、その語にどのような意味付けをしているのかを新聞記事の計量テキスト分析から解析する。唐沢・杉谷発表でも、仁平論文同様、企業が動員する「持続可能性」概念を、消費者行動への影響という観点から論じる。「SDGs 効果」を狙った企業の広告活動は、どのような属性の消費者のどのような心理に効果を及ぼすのか。

本課題研究では、教育社会学、知識社会学、社会心理学、消費者行動論の観点での発表に加え、指定討論者が教育哲学、情報哲学の視点を持ち寄る。グローバル化、ネットワーク化した現代に消費者・学習者・生産者など様々な立場で関わる人々に共有化されようとする規範がもつ意味を参加者とともに議論したい。

### 話題提供者

山田肖子(名古屋大学)(研究委員)

- 【50301】 「持続可能性と教育の接続  
—『持続可能性』概念の変遷が示唆するもの—」

仁平典宏(東京大学)

- 【50302】 『『サステナビリティ／持続可能性』の記述の複数性 —企業における位置づけに注目して—」

唐沢穰(名古屋大学)(非会員)・杉谷陽子(上智大学)(非会員)

- 【50303】 「企業ブランディングとしてのSDGs関連活動が  
消費者の認知と行動に及ぼす影響—社会心理学的な実証研究に向けて—」

### 指定討論者

松浦良充(慶応大学)(非会員)

久木田水生(名古屋大学)(非会員)

### 司会

天童睦子(宮城学院女子大学)

江田英里香(神戸学院大学)(研究委員)

(研究委員:山田肖子・北村友人・江田英里香・芦田明美・大東直樹)

## オンデマンド報告

---

- 【90001】 1. フリースクール等の展開の推移  
藤根雅之(美作大学)
- 【90002】 2. 少年犯罪増加認識の計量分析  
須藤康介(明星大学)
- 【90003】 3. 国立・私立初等教育機関の入学志向と家族の変容  
2000年・2021年両調査の比較を通して  
小針誠(青山学院大学)
- 【90004】 4. 教職大学院の実務家教員にとって「理論」とは何か  
—研究者教員との差異に着目して—  
園部友里恵(三重大学)
- 【90005】 5. 小中学校教員が持つ教育意識における「地域密着」と「競争原理」との関連  
—非大都市圏の調査からの分析—  
富江英俊(関西学院大学)
- 【90006】 6. 農村における母子の生存保障 —福島県旧白沢村を事例にして—  
○宮地さつき(文教大学)  
○坪田光平(職業能力開発総合大学校)
- 【90007】 7. 誰が育児雑誌を読んでいるのか  
—保護者の教育戦略における育児雑誌接触経験の意味—  
高橋均(北海道教育大学)



教育学マネジメントと内部質保証の実質化  
大学基準協会監修 永田恭介・山崎光悦編著 A5・上製・三四四頁・三二〇〇円  
女性の大学進学拡大と機会格差  
日下田兵衛著 A5・上製・二〇四頁・三九六〇円

現代アメリカ貧困地域の市民性教育改革  
連関の創造 古田雄一著 A5・上製・二二二頁・四六二〇円  
米国における協働的な学習の理論的・実践的系譜  
福嶋祐貴著 A5・上製・三六〇頁・三九六〇円

アメリカ力教育例外主義の終焉  
ジェフリー・ヘニグ著 青木米一監訳 A5・上製・二〇〇頁・三九六〇円  
カナダの「開かれた」学校づくりと教育行政  
平田淳著 A5・上製・三六〇頁・四一八〇円

台湾における高等教育多様化の論理  
廖于晴著 A5・上製・二四〇頁・三二二〇円  
現代ロシアの教育改革  
仁伝統と革新の(光)を求めて  
ロシアアンチ教育研究会 横井岩崎・澤野タツノコ編著 A5・上製・四三三頁・三九六〇円

湾岸アラブ諸国における外国大学分校の質保証  
中島悠介著 A5・上製・二七二頁・四一八〇円  
就職協働による大学改革の軌跡  
村上雅人著 A5・上製・二五八頁・二六四〇円

学生参加による高等教育の質保証  
山田勉著 A5・上製・二四四頁・二六四〇円  
「書くこと」による学生の自己形成  
文書視パノラマとして  
谷美奈著 A5・上製・一八四頁・二六四〇円

世界のテスト・ガバナンス  
日本の学テテストの行末を探る  
佐藤一北野秋明編著 A5・上製・二六四頁・三二二〇円  
科学技術社会と大学の倫理  
「高等教育研究論集第4巻」  
羽田貴史著 A5・上製・二九六頁・三二二〇円

国際教育開発への挑戦  
これからの教育・社会理論  
荻巣崇世・橋本憲幸・山口純編著 A5・並製・二五六頁・三〇八〇円  
日本の大学経営  
自律的・協働的改革をめざして  
丸角亜希子著 A5・上製・四二四頁・四二九〇円

溝上慎一著 学びと成長の講話シリーズ各四六・並製(続刊)

③ 社会に生きる個性

自己と他者・拡張的パーソナリティ・エージェンシー 二〇八頁・一六五〇円  
「あの子はとなしといふと成長は

② 学習とパーソナリティ  
いんですよ!」をどう見るか 二四八頁・一七六〇円

① アクティブラーニング型授業の基本形と生徒の身体性  
一八四頁・一〇〇〇円  
学校から仕事への路上  
ジェームズ・E・コテ&チャールズ・G・レヴィン著 河井亨著・溝上慎一訳  
A5・上製・二九六頁・三二二〇円

若者のアイデンティティ形成  
高校生への学びと成長に向けた「大学選び」  
溝上慎一著 A6・並製・一八四頁(予)

高師・文理大80年の歩み  
大学の理想像を探し求めて予  
山田宣夫著 A5・上製・一〇七二頁・五四〇〇円

比較教育学のアカデミック・キャリア  
森下稔・鴨川明子・市川桂編著 A5・上製・二〇八頁・三〇〇〇円  
教育勅語の社会史  
副田義也著 A5・並製・二〇八頁・三〇〇〇円  
教育基本法の社会史  
副田義也著 A5・副田義也社会学作品集X  
才能教育・2E教育概論  
ギフテッドの発達多様性を活かす  
松村陽隆著 A5・上製・三六〇頁・三九六〇円

越境ブックレットシリーズ(全A5版並製・続刊) 専門を超えて総合的に論じる  
④食と農の知識論  
種子から食卓を繋ぐ環世界をめぐる  
三川芳昭著 二二八頁・二〇〇〇円

③他人事・非自分事  
教育と社会の根本課題を読み解く  
菊地栄治著 二二八頁・二〇〇〇円

②女性のエンパワメントと教育の未来  
知識をエンターで問い直す  
天童隆子著 一〇四頁・二〇〇〇円

①知識論  
情報クラウド時代の「知る」という営み  
山田淳子著 二二〇頁・二〇〇〇円

①教育の理念を象る  
教育の知識論序説  
田中智志著 一六〇頁・一三三〇円

東信堂 113-0023 東京都文京区向丘 1-20-6  
HP http://www.toshindo-pub.com  
03-3818-5521 03-3818-5514  
toshindo.oni@ncorder.1985@gmail.com  
t20244401@snet.or.jp(代表)



第17回

# 児童教育実践 についての 研究助成

応募受付開始

2021.7.1 THU. ▶ 10.31 SUN.



## 助成期間

2022年4月1日から1年間または2年間

※2ヵ年助成の場合は1年経過後に中間報告の必要があります。

## 対象となる研究

- 「ことばの力」を育む研究
- 児童教育実践の質を向上させる研究

## 応募資格

- 日本の大学・研究機関に所属する研究者
- 日本の学校・教育委員会に所属する教育実践に携わる方

※応募に際しては、所属長あるいは指導教官からの推薦が必要です。

## 助成金額

1ヵ年助成: 1件につき200万円を限度に助成します

2ヵ年助成: 1件につき300万円を限度に助成します

## 審査委員

米田 英嗣 青山学院大学 准教授  
針生 悦子 東京大学大学院 教授  
藤野 博 東京学芸大学大学院 教授  
藤森 裕治 文教大学 教授 (審査委員長)  
横山 詔一 国立国語研究所 教授 (五十音順)

Webにて応募受付、詳しくは  
博報財団ホームページをご覧ください

<https://www.hakuhofoundation.or.jp/subsidy/>



博報堂教育財団

Hakuhodo Foundation

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル14階 TEL:03-6206-6266 FAX:03-6206-6582

## 途上国世界の教育と開発

公正な世界を求めて

■小松太郎[編] A5版・定価(本体1,780円+税)

「公平・公正な世界の実現」のための、教育の役割と課題を考察し、今後の途上国世界の教育と国際教育協力の展望を描く。

## 応用言語学から英語教育へ

上智大学英語教授法TESOLコースの過去・現在・未来

■坂本光代、渡部良典[共編] A5版・定価(本体1,700円+税)

日本の英語教育において先駆的な試みが続けている上智大学大学院TESOLコースについて詳しく紹介。応用言語学の基礎的概念や研究法を解説し、担当教員による研究例も掲載。英語教育に関わる全ての方に おすすめ。

## 日本で出会う世界

国内で実現する短期集中型国際研修

■櫻井勇介、文 景楠、佐藤亮司、杉村美紀[編]

A5判・定価(本体1,800円+税)

日本にいながらにして海外の学生とともに学び、グローバルな資質の育成を図る短期集中型国際教育プログラム。高等教育の場で広まりつつあるその試みの先導的な実践報告を通して、計画・実施の手立て、成果、課題、今後の可能性まで提示する画期的な書。

## CLIL(内容言語統合型学習)上智大学外国語教育の新たな挑戦 第3巻 授業と教材

■池田 真、渡部良典、和泉伸一[共編]

A5判・定価(本体1,600円+税)

CLILの教室実践がより身近に感じられるよう、教材例と授業例を数多く掲載。評価方法についても解説。CLILの理解と実践をさらに深めるシリーズ第3冊。

## ラテンアメリカの連帯経済

コモングッドの再生をめざして

■幡谷則子[編] A5版・定価(本体2,500円+税)

市場経済に対抗し、尊厳ある生活基盤の回復のためラテンアメリカの人々が実践してきた連帯経済について、民衆の運動や背景、個別事例の特徴を比較分析するとともに、連帯経済が公正で持続的な社会の担い手になりうるか、その可能性を探る。

## 新しいヨーロッパ学

■上智大学外国語学部ヨーロッパ(研究)コース[編]

A5版(本体2,500円+税)

歴史、政治、経済、言語、宗教、スポーツ、文化など多彩な16のトピックを通して、国家・民族が複雑に入り組み、統合と分断のはざまに揺れる「モザイク状のヨーロッパ」の実相に迫る書。

< 発行 >

SUP上智大学出版

<https://www.sophia.ac.jp>

< 発売 >

ぎょうせい

〒136-8575 東京都江東区新木場1-18-11

TEL.0120-953-431 FAX.0120-953-495

<https://shop.gyosei.jp>

## 文系大学院をめぐるトリレンマ

吉田文 編著

なぜ文系修士課程修了者は労働市場で評価されにくいのか。その問題は「大学院/教員」「労働市場/雇用者」「大学院生/修了者」の三者間に存在する不調和にあると仮定し、国内外のアンケートやインタビュー調査からその構造を解き明かしていく意欲的な書。

A5判並製・2336頁 定価3080円

## 知のリーダーシップ

— 大学教授の役割を再生する —

ブルース・マクファーレン 著 齋藤芳子・近田政博 訳

教授がどのように知のリーダーシップを提供できるかについて、様々な「リーダーシップ」の形を提起しながら世界的に通用するアイデアを紹介する。教授の才能を再び活用する方法について、現代に新たな考え方を示す。

A5判並製・2222頁 定価2420円

## 科学立国のための大学教育改革

— エビデンスに基づく科学教育の実践 —

カール・ワイマン 著

大森不二雄・杉本和弘・渡邊由美子 監訳

ノーベル賞受賞者ワイマン博士による「科学教育イニシアティブ」は理系の学士課程における教育を、各学問分野に根ざした方法で変革しようとする取り組みである。米国とカナダの大規模大学で行った貴重な実証研究の成果を紹介。

A5判上製・304頁 定価4620円

玉川大学出版部

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1 TEL 042-739-8935 FAX 042-739-8940 [価格税込]

# 教師の底力

## 社会派教師が未来を拓く

■社会に貧困格差・不平等が広がるなか、それを教育格差としない「社会派教師」が求められている。そのような教師の底力こそが、明日の教育と未来を拓く。第一線の教育社会学研究者が説く、現代の教育への提言とヒント。

●志水宏吉 著 ●四六判・192頁  
●定価1,980円(本体1,800円+税)  
●ISBN 978-4-17-61912-6 68881-5

対象・教師全般

# 月刊生徒指導

●毎月13日発売 ●B5判  
●定価920円(本体820円)・年間誌代12,848円(税込)・増刊2冊含む  
■小学校から高校の先生を対象とした、生徒指導の諸課題への取り組み方と、学級経営の技術や考え方を論じた雑誌。

対象・小・中・高等学校教師 生徒指導担当教員

# 月刊高校教育

●毎月13日発売 ●B5判  
●定価1,045円(本体950円)・年間誌代14,995円(税込)・増刊2冊含む  
■高校教育の現状や課題を鋭く追求し、学校経営の考え方と事例を満載した、高等学校管理職必携の雑誌。

対象・高等学校管理職

**G**学事出版

ご注文は

TEL03-3253-4626 FAX 03-0120-655-514  
<https://www.gakuji.co.jp>

的確に社会を読みとり、課題に挑む

# 社会と調査

## No.26 特集 企業組織を調査する

働き方の問い方・とらえ方……池田心豪  
企業組織の制度と実態……佐藤 厚  
企業組織の歴史を聞き取る……山下 充  
学校研究における組織エスノグラフィーの現在……鈴木雅博  
企業組織の国際比較における方法……佐野嘉秀  
企業・従業員マッチングデータ何ができるのか……高橋康二

海野道郎/辰巳智行/中澤高師/畑農鋭矢/竹下 諒/松戸修一/  
小松 洋/阿部晃士/篠本幹子/宇治橋祐之/志水裕美/森 雅人/大谷 尚/田中智仁/  
辻 正二/石井クツ昌子/岩澤美帆/前田忠彦/小林多寿子/松原 望/桜井 厚/  
西村幸満/原 俊彦/飯田浩之/尾崎幸謙/石田 浩/田辺俊介/作田誠一郎/土屋 敦

**購入方法** 『社会と調査』は年2回発売(3月,9月)

- 1 研究室や図書館などでの定期購読をおすすめします。発売元の京都通信社にメールでお申し込みください。
- 2 個人購読は、もよりの書店を通じてお申し込みください。※会員の方がたには、特典の1つとして無料配布しています。※社会調査協会では販売を行っておりません。



定価 本体1,200円+税

発行・編集 一般社団法人 社会調査協会

東京都文京区本郷 5-25-18 エルスタンザ本郷東本3F  
TEL: 03-6273-9784 FAX: 03-5684-0374  
<https://jsr.or.jp/>

入会申し込みについては、本協会ホームページをご覧ください。

制作・販売 株式会社 京都通信社

京都市中京区室町通御池上る御池之町 309  
TEL: 075-211-2340 Mail: [shigetoba@kyoto-info.com](mailto:shigetoba@kyoto-info.com)  
<http://www.kyoto-info.com/>

書店にない場合は、京都通信社までお問い合わせください。

耳塚寛明・浜野隆・富士原紀絵 編著

A5判上製296頁税込3190円 ISBN978-4-256-26131-3

## 学力格差への処方箋

※最新刊

「分析」全国学力・学習状況調査  
保護者調査を基に、学力と家庭の社会的背景との関連を検討。

耳塚寛明・中西祐子・上田智子 編著

A5判上製212頁税込3080円 ISBN978-4-256-26133-9

## 平等の教育社会学

現代教育の診断と処方箋

教育達成や学力格差の問題に焦点を当てて調査分析し、解決策を示す。

山下 純

A5判上製200頁税込4180円 ISBN978-4-256-26132-2

## 学校選択制の政策評価

導入における選択と競争の魅惑

制度の導入や見直しに関しエビデンスに基づき政策決定を問う。

西村幸満

A5判上製176頁税込3300円 ISBN978-4-256-03382-9

## 生活不安定層のニーズと支援

シングルペアレント、単身女性、非正規就業者の実態調査を基に、ニーズの実態をとらえ、今後の支援の方向性を検討する。

東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 編

A5判上製330頁税込3850円 ISBN978-4-256-26135-7

## 子どもの学びと成長を迫る

2万組の親子パネル調査から

大規模な継続調査により、子どもの自立と成長に関する知見を提供。

清水睦美・妹尾渉・日下田岳史・堀健志・松田洋介・山本宏樹

A5判上製352頁税込4180円 ISBN978-4-256-26130-7

## 震災と学校のエスノグラフィ

近代教育システムの慣性と摩擦

被災中学校の教師と子どもをエスノグラフィによって描く。

荒牧草平

A5判上製260頁税込4180円 ISBN978-4-256-03191-0

## 教育格差のかくれ背景

親のパーソナルネットワークと学歴志向

学歴志向に影響を与えているのは何か。調査により、その要因に迫る。

\*表示価格は10%税込



勁草書房

<https://www.keisoshobo.co.jp>

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 TEL 03-3814-6861 FAX 03-3814-6854

寺町晋哉 著

● 214頁 2750円

## 「教師の人生」と向き合う

## ジェンダー教育実践

ジェンダー平等な学校をつくるため、教師たちができることとは。

大津尚志 著

● 142頁 1760円

## 校則を考える

歴史・現状・国際比較  
どのような歴史を経て、「校則」と呼ばれるものができたのか。  
「校則」を多角的な視点から検討する。



都島梨紗 著

● 240頁 4070円

## 非行からの「立ち直り」とは何か

少年院教育と非行経験者の語りから  
一七名の少年院経験者の語りから、「立ち直り」を捉えなおす。



木村絵里子・榎田竜威・牧野智和 編著 ● 194頁 2640円

## 場所から問う若者文化

ポストアーバン化時代の若者論  
多様な「場所」からその姿の析出を試みた若者論の新潮流。



加藤泰子 著

● 250頁 2750円

## スーザンのアメリカ

ライフストーリーによる異国の友人理解の試み  
アメリカ的なものへ接近しようとする試み。



## 貧困・外国人世帯の子どもへの包括的支援

柏木智子・武井哲郎 編著 ● 2860円 地域・学校・行政の挑戦

## 若者支援の日英比較

井上慧真 著 ● 4180円 社会関係資本の観点から

## 現代ドイツにおける学校制度改革と学力問題

布川あゆみ 著 ● 7920円 進む学校の終焉化と問われる役割分担のあり方



晃洋書房

京都市右京区西院北矢掛町七番地  
TEL 075 (312) 0788 / FAX 075 (312) 7447  
<http://www.koyoshobo.co.jp>



# 子どもの未来応援シリーズ

※肩書は執筆当時

## AIに負けない子育て ～ことは子どもの未来を拓く～



内田伸子  
(お茶の水女子大学  
名誉教授)

■四六判/264頁 ■定価1,980円(税込)  
■ISBN978-4-86371-553-0

発達心理学の第一人者である著者が、実際に教育相談の場に寄せられた親からの悩みや質問に、科学的理論に基づいたデータを提示しながらズバリ回答!

## ネット社会の子育て スマホに振り回される子 スマホを使いこなす子

五十嵐悠紀  
(明治大学総合理工学部先端メディアサイエンス学科准教授)  
■四六判/192頁 ■定価1,980円(税込)  
■ISBN978-4-86371-510-3

## 大人が正しく生きるための哲学

頭のバランス力の鍛え方  
小川仁志  
(山口大学国際総合科学部教授)  
■四六判/208頁 ■定価1,980円(税込)  
■ISBN978-4-86371-524-0

## 我が子のいじめに 親としてどうかかわるか

—親子で考える「共に生きる意味」—  
阿形恒秀  
(専門教育大学教職大学院教授)  
■四六判/172頁 ■定価1,540円(税込)  
■ISBN978-4-86371-478-6

## 思春期の子どもの こころがわかる25のQ&A

名教雅子 (法務省矯正局長)  
西岡潔子 (法務省大臣官房秘書課広報室長)  
■四六判/192頁 ■定価1,980円(税込)  
■ISBN978-4-86371-509-7

## 哲学で子どもの思考力が伸び、心が成長する

—親子で考える人生の疑問—  
小川仁志  
(山口大学国際総合科学部准教授)  
■四六判/176頁 ■定価1,540円(税込)  
■ISBN978-4-86371-475-5

## 人の子育て 動物の子育て

—家庭教育の大切さを動物の視点で考える—  
土居利光  
(日本ハンダ保護協会会長・前上野動物園園長)  
■四六判/188頁 ■定価1,540円(税込)  
■ISBN978-4-86371-476-2

企画編集

一般社団法人 子どもの未来応援団

〒101-0032 東京都千代田区若本町1-13-5 サンチカビル1F  
TEL 03-5829-4483/FAX 03-5829-4484

発行

シヤース教育新社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-23 宗保第2ビル  
TEL 03-5282-7183/FAX 03-5282-7892

# 月刊「教育展望」

毎月1日発行、A5判、64頁、定価493円(448円+税)

## 2021年 特集

- 9月号 通常の学級で学ぶ障害のある児童生徒への指導・支援
- 7・8月号 令和の時代の学級経営
- 6月号 改めて指導と評価の一体化を考える
- 5月号 令和の日本型学校教育の学校経営と教育活動の展望
- 4月号 「見方・考え方」を適切に働かせる学習指導について
- 3月号 教育の情報化とGIGAスクールを考える(完売)
- 1・2月号合併号 WITHiコロナ時代の教育の方向性
- 2020年 特集
- 12月号 第49回教育展望WEBセミナー 分科会報告
- 11月号 第49回教育展望WEBセミナー 全体会報告
- 10月号 学校の危機管理を改めて考える
- 9月号 ポストコロナ時代の教育を考える
- 7・8月号合併号 深い学びの実現に向けて
- 6月号 教科等横断の視点に立った教育
- 5月号 社会的資質や行動を育む生徒指導とは
- 4月号 授業研究と豊かな授業づくり
- 3月号 新学習指導要領で求められる評価とは

## 「教育展望」臨時増刊

A5判、定価2619円(2381円+税)

セミナー 研究討議資料

- №53 (第50回教育展望セミナー) 2021年7月発行、116頁  
変革の時代の学校教育を展望する
- 「令和の日本型学校教育をどのように進めるか」—
- №52 (第49回教育展望セミナー) 2020年7月発行、114頁  
これからの時代に向けた教育の改革と創造II
- 学習の基礎となる資質能力や現代的な諸課題に対応する資質能力をどのように育成するか—

一般財団法人 **教育調査研究所**

(理事長 新井郁男)

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館  
TEL: 03-3520-2970 FAX: 03-5579-6574  
E-Mail: chouken@estate.ocn.ne.jp



# 有斐閣出版案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17/Tel:03-3265-6811

<http://www.yuhikaku.co.jp/>

(表示価格は税込。消費税込みの金額が定価です。)

**犯罪・非行の社会学** 補訂版  
 二八六〇円  
〔有斐閣〕ックス  
 八二六〇円

**雇用関係と社会的不平等**  
 五九四〇円  
AS判

**産業的シテイズンシップ形成・展開としての構造変動**  
 四七三〇円  
AS判

**ロビイングの政治社会学**  
 四七三〇円  
AS判

原田 峻著 ● NPO 法制定 改正をめぐる政策過程と社会運動

**「シカゴ学派」の社会学**  
 三八五〇円  
AS判

松本 康著 ● 都市研究と社会学理論

**都市に聴け**  
 三一九〇円  
四六判

町村敬志著 ● アーバン・スタディーズから読み解く東京

**協力の条件**  
 四一八〇円  
AS判

盛山和夫著 ● ゲーム理論とともに考えるジレンマの構図

マイノリティ問題から考える社会学入門  
 二四二〇円  
四六判

西原和久・杉本 学編 ● 差別をこえるために

**新・消費社会学論**  
 二七五〇円  
AS判

間々田孝夫・藤岡貞之・水原俊博・寺島拓幸著

**社会運動の現在**  
 三八五〇円  
AS判

長谷川公一編 ● 市民社会の声  
 問いからはじめる社会運動論 二二〇〇円  
有斐閣ストウパティ  
 二二〇〇円  
 濱西栄司・鈴木彩加・中根多恵・青木聡子・小杉亮子著

## 教育学年報12号

● 8月発売  
 編集委員 山下尚晶・丸山英樹・青木栄一・濱中孝子・仁平典宏・石井英真

**国家**  
論）特集「国家。歴史の教育学の国家論を問い直す。教育学者、玉野博徳氏と編集委員の議論。教育研究現場のありか。在。在。在。相対化論。は成り立つか。」も収録。千価4,000円

広瀬裕子編  
戦後の教育と教育学を包括的にマッピングする「ランド・セーリ」はここへ? 変容しながら増殖する近代教育学を眺める。執筆者：石井英真・大橋敏行・功高剛生・北村真人・小玉重代・清田夏代・長瀬夏代

**カリキュラム・学校・統治の理論**  
 2,000円

◎ ポスト・コロニー化時代の教育の仕組み  
 永田佳之編  
多様性を主張したもう一つの間。その地平は、学生を原形とする教育の基盤は成り立つか。執筆者：荒井(大塚) 柳子・植田かおり・菊地栄治・河野穂子・高山悠祐・金澤勲・長島 齊藤幸雄・坂野由紀子・清水海・鈴木徳美・木山純太郎・飯沼雄一・永田佳之・長瀬夏代・中村淳子・福若真人・本園愛美・吉田敬孝・米山尚太郎

**変容する世界と日本のオルタナティブ教育**  
 5,800円  
生を優先する多様性の方へ

高宮正貴  
（ミルの功利主義と自由を明らかにしながら、教育をめぐる「規範」を正当化する方法を探索）

**J・Sミルの教育思想**  
 3,000円  
 ◎ 自由と平等はいかに両立するのか

林 潤平  
近代日本の様々な問題を解決するために利用され得た心情「自然愛をめぐる教育の近代日本」

**自然愛をめぐる教育の近代日本**  
 3,000円  
 ◎ 自然観の創出と変容の一系譜

編者委員 山下尚晶・丸山英樹・青木栄一・濱中孝子・仁平典宏・石井英真・華城 章  
 教育研究の新 三上チカ子 著 3,000円  
 教育学年報11号 3,000円

日本教育実務動向研究センター編  
**教育勅語と学校教育** 2,000円  
 ◎ 教育勅語の精髄を50年ぶりに読む

福元真由美  
**都市に誕生した保育の系譜** 3,000円  
 アン・エーションと郊外のユートピア 3,000円

谷川至孝  
**英国労働党の教育政策「第三の道** 3,000円  
 ◎ 教育権の帰属

岩田正一  
**教育メテオ空間の言説実践** 3,000円  
 ◎ 明後期から昭和前期までの教育現場の構成

平井悠介  
**エイミー・ガットマンの教育理論** 3,000円  
「現代から読み解く」教育理論の探求

澤澤博昭  
**軍国少年・少女の誕生とメテオ** 2,000円  
子ども達の日常観を交流

平井秀幸  
**刑務所外遇の社会学** 3,000円  
◎ 刑務所外遇の新しい社会学 統計性



## 世織書房

〒230-0042 横浜西区戸部町7-240 文教堂ビル3階 TEL045-317-3176 / FAX045-319-0644  
 seori@nifty.com <http://seorishobo.com> (税抜)

# 総中流の始まり 団地と生活時間の戦後史

渡邊大輔／相澤真一／森 直人 編著

総中流社会の基盤になった「人々の普通の生活」は、どのように成立したのか。1965年の社会調査を復元して再分析し、労働者や母親の生活実態など、「総中流の時代」のリアルを浮き彫りにする。定価1600円＋税

## 〈ヤンチャな子ら〉のエスノグラフィー ヤンキーの生活世界を描き出す

知念 渉

ヤンキーは何を考へ、どのようにして大人になるのか。高校で3年間をともに過ごし、高校を中退／卒業してからも継続して話を聞いて、社会関係を駆使して生き抜く実際の姿を照らす。定価2400円＋税

青弓社 162-0801 東京都新宿区山吹町337  
電話 03-3268-0381 <https://www.seikyusha.co.jp/>

## 月刊 教員志望者が一番読んでいる専門誌！ ※大学生協調べ 教員養成セミナー

合格への総仕上げ  
教員養成セミナー 9  
September 2021

特集1 参考書には載っていない  
「前例なき面接質問」  
に答える！「合格回答」が満載！

「令和の日本型学校教育」  
「GIGAスクール」

「コロナ対応」

特集2 速報！  
21年夏試験の  
出題傾向

教員一般教養は「教セまちゃんねる」で！  
SNSで役立つ情報配信中！

YouTube 動画配信  
Twitter @shupansha  
Instagram shupansha

毎月  
22日  
発売！

YouTube  
「教セまちゃんねる」で  
動画講義を  
無料配信中！  
今すぐアクセス！



鬼才と碩学が  
縦横無尽に  
語り合う！

## 大学の問題 問題の大学

問題だらけの大学、  
どうしたらよくなるのか、



竹内 洋

京都大学名誉教授 関西大学名誉教授  
関西大学東京センター長

×  
佐藤 優

作家・元外務省主任参事官



●四六判変型・204ページ ●定価：1,650円(税込)



時事通信出版局

〒104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル8F  
tel.03-5565-2155 fax.03-5565-2168 <https://bookpub.jiji.com>



## 学力工場の社会学 英国の新自由主義的教育改革による不平等の再生産

クリスティ・クルツ 著 仲田康一 監訳 濱元伸彦 訳 ISBN978-4-7503-5132-2 ◎4180円

英国の民営化公立学校に密着し、新自由主義的教育改革と規律主義の結合による教育格差の再生産について分析した教育社会学研究。日本経済新聞 2021年6月19日付読書欄にて本田由紀先生ご紹介!

## 日本社会の移民第二世代 世界人権問題叢書 103

エスニシティ間比較でとらえる「ニューカマー」の子どもたちの今 ISBN978-4-7503-5228-2

清水睦美、児島明、角替弘規、額賀美紗子、三浦綾希子、坪田光平 著 ◎6490円

移民第二世代の若者たちが紡ぐ語りから、ホスト国日本への適応過程とその要因、世代間にまたがる文化変容の型がみえる。

## 教育のディープラーニング 世界に関わり世界を変える

マイケル・フランほか 著 松下佳代 監訳 濱田久美子 訳 ISBN978-4-7503-5070-7 ◎3300円

変化の激しい不確実で複雑かつ曖昧な世界の中で活躍し成果を発揮できるよう、そこに向けた新しい教育法とその指針を提起する。

## 教育は社会をどう変えたのか 個人化をもたらすリベラリズムの暴力

桜井智恵子 著 ISBN978-4-7503-5252-7 ◎2750円

リベラリズムは、いかに私たちの日常を形作り、統治を仕掛けているか。本書は、政治・経済の在り方を教育の歴史に接続しつつ、個人化の理論を把握する。



2021年9月  
刊行予定

**明石書店** 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5

<https://www.akashi.co.jp/>

TEL 03-5818-1171 FAX 03-5818-1174

\*図書目録送呈 \*価格税込

本広告をご覧のお客様限定! 広告内の書籍や関連書の購入をご希望の方は、右のQRコードから販売ページにてお申込みいただけますと、期間限定で送料無料で承ります。ぜひご利用ください! (公費対応可)



2021年7月30日発行

発行者 日本教育社会学会 第73回大会実行委員会

〒662-0827 兵庫県西宮市岡田山7-54

関西学院大学教育学部 富江英俊研究室

E-mail: jses\_73@yahoo.co.jp

印刷所 ヨシミ工業株式会社